

支所別意見交換会における意見に対する回答

施設用途 大分類	中分類	地区	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの方向性	現在の用途別面積	目標縮減面積	用途別目標	用途別の基本方針	地域 No.	参加者からの意見 (個別施設に対する意見のみ)	意見に対する回答案 (事務局原案)
行政施設	庁舎	上伊	本庁舎	11,027㎡	1964年度	無	縮小	22,034㎡	14,800㎡	67%	・本庁舎は、行政機能の確保・効率性の向上のため「伊賀市庁舎整備計画」に基づく整備を行う。 ・耐震性を満たす支所庁舎は、他施設からの機能統合を図る。 ・耐震性が低く、老朽化している支所庁舎は、周辺施設への機能移転もしくは適正規模で建替え、機能統合を図る。	伊55再掲	支所、市民センター複合施設とし、公民館を小規模建替とする	市全体で34%の縮減を図るため建替は必要最小限とする必要があり、「ふるさと会館いが」への複合化が有効な手段であると考えています。
			伊賀支所庁舎	1,944㎡	1961年度	無	複合化					伊11再掲	支所、公民館、市民センター、図書館を一括して複合施設として新しく建築する	
						伊12	建替え費が書いてあるが7.1億円でいけるのか？							
		島	島ヶ原支所庁舎	1,357㎡	1978年度	有	複合化					伊67再掲	市民センター、公民館、支所、図書室の統合は賛成する	複合化を進める際の規模・配置については、実行計画の策定及び推進時に詳細な検討を行う予定です。 駐車場については、想定必要台数を把握して整備計画を策定します。 7.1億円は、用途区分・面積に基づく試算です。実際に設計等を進める段階において、異なる場合があります。
												島5	現支所のリニューアルにより複合施設とする	
												島6	現支所に集約していく案であるが駐車スペースの問題が発生してくる	
												島7	支所の全面改修 機能の集約化	
												島8	既存の支所に関して ①子育て支援機能を果たせるのか不安 プレイルームも必要 駐車場小さい ②島ヶ原会館の機能も含むときは必ずホールを作って欲しい	
												島9	島ヶ原支所で(複合になったとき)果たして対応できるのかスペースとの関係で	
												島16	島ヶ原の庁舎＝施設の本体化 安くつく	
												島42	支所に集約しても駐車場がない	
												島43	支所に複合化されると機能が縮小するのちがうのか	
												島52	島ヶ原会館、市民センターが廃止になり支所機能が増大。これに伴う地域の行事等を実施する館が必要。どのように対応するか	
												島66再掲	学校へ支所機能を集約させては？	
												島67	支所機能⇒適正規模⇒学校用地へ新築 駐車場あり	
												島68	支所(新築) 多機能、駐車場	
												島89	島ヶ原支所に子育て支援機能を一つにしたいと思っています	
												島103	まちづくり協議会、社協、市民センターを支所2階 サークル活動、子育て支援センターを会館へ	
												島71	駐車場拡大、最終建物新築	
												島75	支所機能をどう考えているのか？どうなるのか。	
島92	支所はうまいこと利用する													
島93	現在の支所を改修し、一局集中型にしてはいいのでは													
島102	多くの機能を支所へ持っていきのはよいのですが、今まで以上の内容に進めていただきたい													
島107	島ヶ原支所に移転する際には、舞台が欲しい													
阿73	阿山支所が示すモデルケースを実施すればいい	複合化を進める際の規模・配置については、実行計画及び推進の段階で詳細な検討を行う予定です。												
阿86	阿山支所の案では社協はどうなるのか													
阿18	阿山支所を貸付する相手があるか。相手が決まらない時間日数もつたいない	現支所庁舎については、機能移転後に速やかに売却・貸付等活用ができるよう準備を進めます。												
大12	支所、環境改善センターの廃止後の利用方法は？	現支所建物は、耐震性が無く、老朽化しているため除却します。 跡地については、実行計画の策定及び推進時に詳細な検討を行う予定です。												
大39	支所、改善センター、市民センターがなくなった後、用地利用はどうするのか													
大40	支所等撤去した場合の跡地はどのように利用するか													
大81	大山田支所を廃止して、窓口業務は市民センターを充													
大92	人口が減少しているので複合化して使える施設を最大限に利用してもらいたい。せせらぎ運動公園をしっかりと修繕してもらい、他市より利用者を呼びたい													
大82	支所をまとめる													

施設用途 大分類	中分類	地区	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの方向性	現在の用途別面積	目標縮減面積	用途別目標	用途別の基本方針	地域	参加者からの意見 (個別施設に対する意見のみ)	意見に対する回答案 (事務局原案)					
												No.							
消防施設	青	青	青山支所庁舎	2,898㎡	1974年度	無	複合化					青11	支所は建て替え公民館等との複合化 但し、場所の選定を考える 支所のあり方を元々詰めてからすべきではないのか？ 青山支所の複合化には理解できる 青山支所の複合化建替えは早急に行って欲しい 青山支所周辺の統合は良いと思う 場所は北部公園が良いと思う 青山支所＝建替場所 北部公園 ○国道傍で便利 ×青山ホールと離れる ×国道を横断しなければならない 青山支所を複合化すると駐車に困る日が多くなると思う 現在でも困る日がある 支所の建て替えは賛成だが、モデルケースでは窮屈ではないのか 青山支所の建替えるなら人口の多い地に移してはどう 青山支所の場所 現在の位置がよい 青山ホールが残るから 青山支所の立地について 災害時の避難場所がなくなる恐れがある	規模・配置及び場所については、実行計画の策定及び推進時に詳細な検討を行う予定です。					
												青56							
												青14							
												青141							
												青144							
												青145							
												青33							
												青35							
												青82							
												青143							
消防施設	上	島	消防本部・中消防署	2,075㎡	1981年度	有	縮小	6,543㎡	2,500㎡	38%	・消防本部は「消防庁舎移転計画」に基づき移転する。 ・平成37(2025)年までの救急需要の増加に対応して機能強化をするとともに、以降の需要減少に備え効率化を図る。	阿22	消防救急など必要なものは減らさない 消防署の複合化になると、助かる命もどうなる？火災の被害も大きくなる？	効率化だけでなく、消防・救急体制の適正化を踏まえて進めます。					
												阿52							
												上			中消防署・西分署	1,131㎡	2005年度	有	継続
												上			中消防署・島ヶ原分署	275㎡	1986年度	有	継続
												伊			東消防署	475㎡	1980年度	有	複合化
												阿			東消防署・阿山分署	400㎡	1980年度	有	複合化
												大			東消防署・大山田分署	536㎡	1999年度	有	継続
青	南消防署	645㎡	1979年度	有	継続														
上	南消防署・丸山分署	1,007㎡	2001年度	有	継続														
学校教育施設	小学校	上	上野東小学校	9,278㎡	2006年度	有	継続	109,054㎡	33,000㎡	30%	・校区再編計画を策定済の学校については、計画に基づき統合を進める。 ・校区再編計画が未策定の地域については、将来の児童数減少や複式学級の解消を見据えた適正な規模と配置を検討する。 ・再編後の旧小学校については、整備時の補助金や起債による制約などに留意しつつ、他用途への転用や更地にしての売却などの有効活用を検討する。 ・文科省の「学校施設と他の公共施設等との複合化検討部会」による今後の学校施設の複合化の推進の考え方に沿って、余裕教室や体育館などの有効活用を検討する。	伊3再掲 学校の統廃合はないのか 伊85 小学校の空き教室の利用を考えてたらどうか 阿31 学校の統廃合が先では	適正な学校規模を実現するため、校区再編による学校統合を関係する地域の合意と参画により進めるよう考えています。						
			上野西小学校	7,173㎡	1995年度	有	継続												
			久米小学校	4,585㎡	2002年度	有	継続												
			花之木小学校	2,310㎡	1985年度	有	継続												
			長田小学校	2,360㎡	1984年度	有	縮小												
			新居小学校	3,160㎡	1967年度	有	継続												
			三田小学校	2,454㎡	1986年度	有	継続												
			府中小学校	3,095㎡	1984年度	有	複合化												
			中瀬小学校	2,759㎡	1973年度	無	複合化												
			友生小学校	9,673㎡	2005年度	有	継続												
			猪田小学校	2,418㎡	1975年度	有	継続												
			花垣小学校	2,288㎡	1978年度	有	縮小												
			依那古小学校	3,005㎡	1978年度	有	複合化												
			神戸小学校	2,763㎡	1980年度	有	複合化												
			古山小学校	2,316㎡	1986年度	有	縮小												
			阿	丸柱小学校	2,694㎡	1974年度	有							縮小					
			伊	柘植小学校	6,281㎡	1977年度	有							複合化					
			伊	西柘植小学校	4,099㎡	1973年度	無							複合化					
			伊	壬生野小学校	5,575㎡	1968年度	有							複合化					
			阿	河合小学校	5,206㎡	1965年度	無							継続					
阿	玉滝小学校	3,957㎡	1985年度	有	複合化														
阿	鞠田小学校	4,090㎡	1989年度	有	複合化														
大	大山田小学校	6,639㎡	2004年度	有	継続														
青	青山小学校	8,814㎡	2004年度	有	継続														
上	比自岐小学校		休校中		縮小														

施設用途 大分類	地区	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの方向性	現在の用途別面積	目標縮減面積	用途別目標	用途別の基本方針	地域 No.	参加者からの意見 (個別施設に対する意見のみ)	意見に対する回答案 (事務局原案)							
														中分類						
学校教育施設	中学校	上 崇広中学校	8,148㎡	1999年度	有	継続	77,774㎡	14,000㎡	18%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区再編計画を策定済の学校については、計画に基づき統合を進める。</li> <li>・校区再編計画が未策定の地域については、将来の生徒数減少を見据えた適正な規模と配置を検討する。</li> <li>・再編後の旧中学校については、整備時の補助金や起債による制約などに留意しつつ、他用途への転用や更地にしての売却などの有効活用を検討する。</li> <li>・文科省の「学校施設と他の公共施設等との複合化検討部会」による今後の学校施設の複合化の推進の考え方に沿って、余裕教室や体育館などの有効活用を検討する。</li> </ul>	伊3再掲	学校の統廃合はないのか	適正な学校規模を実現するため、校区再編による学校統合を関係する地域の合意と参画により進めるよう考えています。							
		上 緑ヶ丘中学校	6,718㎡	1974年度	有	継続														
		上 城東中学校	8,015㎡	2008年度	有	継続														
		上 上野南中学校	7,177㎡	2011年度	有	継続														
		伊 柘植中学校	5,688㎡	1982年度	有	複合化														
		伊 霊峰中学校	6,149㎡	1977年度	有	複合化														
		島 島ヶ原小・中学校	7,449㎡	2004年度	有	継続														
		阿 阿山中学校	6,488㎡	1973年度	有	継続														
		大 大山田中学校	5,462㎡	1969年度	有	継続														
		青 青山中学校	8,124㎡	1983年度	有	継続														
		上 丸山中学校	用途廃止済み			縮小														
		上 成和中学校	用途廃止済み			縮小														
		給食センター	上 いがっこ給食センター夢	1,870㎡	2006年度	有								継続	3,018㎡	0㎡	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の運営方式を早急に検討し方向性を決定する。</li> <li>・施設の更新にあたっては、PFIなど民間資本による整備手法を検討する。</li> </ul>		
			阿 阿山給食センター	592㎡	1983年度	有								継続						
大 大山田給食センター	557㎡		1991年度	有	継続															
子育て支援施設	保育所(園)・幼稚園	上 佐那具保育所	453㎡	1984年度	有	複合化	16,288㎡	6,700㎡	41%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、公立保育所(園)が22園、私立保育園が14園があり、私立保育園と連携した保育サービスのあり方を検討する。</li> <li>・今後は、「保育所のあり方に関する提言書」を基本として、「校区再編後」を想定した配置とする。</li> <li>・園児数10人が保育所(園)の統廃合を検討する際の目安となっていることから、将来の園児数の動向を加味しつつ規模の適正化を検討する必要があります。</li> <li>・再編後の旧保育所(園)については、整備時の補助金や起債による制約などに留意しつつ、他用途への転用や更地にしての貸付や売却などの有効活用を検討する。</li> <li>・桃青の丘幼稚園は、唯一の公立幼稚園として継続して配置する。</li> </ul>	島58	島ヶ原保育所 ⇒島ヶ原小中学校内へ移転 子どもの一元化(集約)	現時点では、既存施設の活用の観点から困難ですが、将来的には検討が必要と考えます。							
		上 猪田保育所	397㎡	1992年度	有	継続														
		上 比自岐保育所	210㎡	1989年度	有	複合化														
		上 依那古保育所	635㎡	1982年度	有	複合化														
		上 依那古第2保育所	510㎡	1975年度	有	複合化														
		上 神戸保育所	543㎡	1986年度	有	複合化														
		上 諏訪保育所	213㎡	1991年度	有	縮小														
		上 しろなみ保育所	869㎡	1980年度	無	継続														
		上 新居保育所	521㎡	1997年度	有	継続														
		伊 柘植保育園	722㎡	1983年度	有	複合化														
		伊 柘植第2保育園	930㎡	1989年度	有	複合化														
		伊 西柘植保育園	889㎡	1982年度	有	複合化														
		伊 壬生野保育園	737㎡	1975年度	無	複合化														
		伊 希望ヶ丘保育園	818㎡	1994年度	有	複合化														
		島 島ヶ原保育所	788㎡	1983年度	有	継続														
		阿 あやま保育所	1,227㎡	1996年度	有	継続														
		阿 ともだ保育所	627㎡	1988年度	有	複合化														
		阿 たまたき保育所	685㎡	1992年度	有	複合化														
		阿 まるばしら保育所	608㎡	1995年度	有	縮小														
大 大山田保育園	1,397㎡	2006年度	有	継続																
大 大山田東保育園	用途廃止済み			縮小																
青 さくら保育園	2,111㎡	2003年度	有	継続																
上 桃青の丘幼稚園	1,545㎡	2009年度	有	継続	1,545㎡	0㎡	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に唯一の公立幼稚園として継続する。</li> </ul>		子ども子育て支援制度に対応するよう検討していきます。										

施設用途 大分類	地区 中分類	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの方向性	現在の用途別面積	目標縮減面積	用途別目標	用途別の基本方針	地域	参加者からの意見 (個別施設に対する意見のみ)	意見に対する回答案 (事務局原案)
											No.		
子育て支援施設	放課後児童クラブ	上 放課後児童クラブキッズうえの	151㎡	2000年度	有	継続	1,670㎡	100㎡	6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要の増加に対応して配置するが、中長期的な児童数の減少を見据えた施設の整備を行う。</li> <li>・今後新設する場合を含め、小学校の空き教室・地区市民センターなど周辺の既存施設の活用による複合化を進める。</li> </ul>			
		上 放課後児童クラブフレンズうえの	131㎡	1996年度	有	継続							
		上 放課後児童クラブ第2フレンズうえの	146㎡	2008年度	有	継続							
		上 放課後児童クラブウイングうえの	145㎡	2000年度	有	継続							
		上 放課後児童クラブふたば	219㎡	2011年度	有	継続							
		上 放課後児童クラブ風の丘	176㎡	2005年度	有	継続							
		上 放課後児童クラブ第2風の丘	126㎡	2008年度	有	継続							
		上 中瀬放課後児童クラブネバーランド	94㎡	1974年度	無	継続							
		大 放課後児童クラブ「あっとほうむ」	154㎡	2004年度	有	継続							
		青 放課後児童クラブ「げんきクラブ」	120㎡	2007年度	有	継続							
		阿 河合小学校区放課後児童クラブ「ポップコーン」	80㎡	1965年度	無	継続							
		伊 壬生野放課後児童クラブ	40㎡	2001年度	有	複合化							
		伊 柘植放課後児童クラブ	45㎡	2004年度	無	複合化							
子育て支援施設	上	島ヶ原放課後児童クラブ	42㎡	2004年度	有	複合化	354㎡	0㎡	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病児・病後児保育室は、周辺の既存施設への統合配置を進める。</li> <li>・現行の使用料の見直しや受益者負担の適正化を検討する。</li> </ul>	伊10再掲 児童クラブの複合化？説明求む	放課後児童クラブは、学校の空き教室等への複合化を進めます。	
		伊10再掲 児童クラブの複合化？説明求む											
		伊58 柘植放課後児童クラブについては、耐震性がないため小学校施設の利用を考えてほしい											
		島30 学童は小中学校の空いた部屋に移動するのが良い											
		島54再掲 子育て支援 放課後児童クラブ 少子化が進む中で切り離すべきでない											
		島57再掲 放課後クラブ、市民センター ⇒島ヶ原小中学校へ移転											
島72 児童クラブなどについては学校空教室利用も良いが広すぎて目が届かない													
子育て支援施設	上	島63 (学童)放課後児童クラブ 遊び場の確保が必要				76㎡	2011年度	有	継続	青146再掲	ハイトピア伊賀はコストが多くかかっているのでは？	ハイトピア伊賀は、市以外が所有する区画を含む区分所有建物であり、各所有者が面積に応じて維持管理経費を負担しています。ハイトピア伊賀に限らず、維持管理費用の削減は公共施設全体の課題として、取組みを進めます。	
		大 大山田子育て支援センター	202㎡	2006年度	有					継続			
		上 病児・病後児保育室(くまさんルーム)	77㎡	2000年度	有					複合化			
社会教育系施設	上	ハイトピア伊賀公共施設(5階)生涯学習センター	1,385㎡	2011年度	有	継続	5,522㎡	700㎡	13%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の施設で実施可能な施設については、機能を周辺施設に移転、集約化する。</li> <li>・現行の使用料の見直しや受益者負担の適正化を検討する。</li> <li>・交流研修センターは、三田地区市民センターに用途転用する。</li> <li>・栄楽館は、文化財指定後、入家住宅などの観光施設と一体で有効活用を図る。</li> </ul>	青146再掲	ハイトピア伊賀はコストが多くかかっているのでは？	ハイトピア伊賀は、市以外が所有する区画を含む区分所有建物であり、各所有者が面積に応じて維持管理経費を負担しています。ハイトピア伊賀に限らず、維持管理費用の削減は公共施設全体の課題として、取組みを進めます。
		上 栄楽館	518㎡	1993年度	無	縮小							
		上 交流研修センター	733㎡	1989年度	有	縮小							
		上 教育研究センター	2,747㎡	1983年度	有	継続							
		青 初瀬街道交流の館「たわらや」	140㎡	2005年度	有	複合化							
		青106	たわらや貸付譲渡しても街道の雰囲気はのこしてほしい										
青107	資料館たわらやは現在地がいい												
青140	たわらや会館は現在そのまま残してほしい												
図書館	上	上野図書館	1,679㎡	1984年度	有	継続	1,679㎡	0㎡	0%	・市の中央図書館として継続配置する。			

施設用途 大分類	地区 中分類	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの方向性	現在の用途別面積	目標縮減面積	用途別目標	用途別の基本方針	地域 No.	参加者からの意見 (個別施設に対する意見のみ)	意見に対する回答案 (事務局原案)				
スポーツ・施設	上	上野運動公園体育館	1,993㎡	1980年度	無	縮小	15,035㎡	7,800㎡	52%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化している上野運動公園体育館や弓道場などは、旧上野商業高校の体育館へ移転する。</li> <li>・老朽化しているものの、利用が多い北部公園体育館は、規模適正化による建替などを検討する。</li> <li>・安全性に大きな課題のないコミュニティ圏域の体育館については、譲渡又は貸付売却する。安全性に課題のある場合は、廃止に向けた検討を行う。</li> <li>・指定管理者制度を活用している施設については、利用実態に応じて適宜契約の見直しを検討する。</li> <li>・現行の使用料または減免利用の見直しを図り、受益者負担の適正化を検討する。</li> <li>・施設の更新にあたっては、PFIなど民間資本による整備手法などを検討する。</li> </ul>							
	上	伊賀上野武道館	1,472㎡	1983年度	有	縮小											
	青	北部公園体育館	624㎡	1961年度	無	一部縮小							青44	例えば北部公園の体育館は修繕せずに(使用しにくい状況)にして「現状は利用者少ない」という判定は因果が逆転している。財政的要件のみでの適正計画は住民と生きていく行政の形としては甚だ一面的	北部公園体育館については”利用者が多い”ため規模適正化による再配置(建替)を検討しています。建替の場所等について今後、調整を行う予定です。		
													青126	北部公園体育館防災施設で市の管理で残してほしい			
													青80	北部公園体育館、雨漏りがあり避難所には不向き、トイレは新しく			
	阿	阿山B&G海洋センター	2,654㎡	1989年度	有	継続								青41	青山の住民として阿山大山田への海洋センターの施設はいらないのでは。売却すべき	この計画の期間が終了後引き続き更に9%の公共施設の縮減が必要であるため、利用者の動向や維持管理経費等の状況を含め検討します。	
	大	大山田B&G海洋センター	2,594㎡	1988年度	有	継続											
	阿	阿山第1運動公園(屋内ゲートボール)	1,452㎡	1995年度	有	継続											
	上	上野運動公園スポーツセンター	481㎡	1993年度	有	縮小											
	青	青山高尾体育館	741㎡	1988年度	有	縮小								青147	体育館の利用率が低いのは社会教育の用途のみだから。学校教育で使うことも	日常の学校教育の中で、離れた場所にある施設を使用するには移動等の課題が多いと思われます。	
	青	青山児童屋内体育施設	572㎡	1981年度	無	縮小											
	青	青山上津体育館	742㎡	1984年度	有	縮小								青7	災害時の避難施設・グラウンドになっている場合(大山田の坂下地区からも要請がある)青山上津体育館・グラ	避難所については、継続することになる施設や民間施設等から再度調整を行います。	
	青	青山博要体育館(スポーツ振興課)	787㎡	1977年度	無	縮小								青45	上津体育館は防災拠点であるので残すべき		
大	大山田東体育館	923㎡	1994年度	有	縮小				大51	東体育館を縮小するとは譲渡か解体か。また跡地はどうするのか？	耐震性があるため、地域への譲渡を考えています。譲渡の条件等については、今後協議します。						
スポーツ・レクリエーション施設	伊	いがまちスポーツセンター	331㎡	1999年度	有	継続	1,373㎡	100㎡	7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能別に利用圏域区分による施設の位置づけを明確にするとともに、近隣施設の状況、市全体のバランス、民間の類似施設のバランス、利用状況、老朽度などを総合的に検討し、移転統合など適正配置を図る。</li> <li>・地域の利用者に限られているコミュニティ圏域のグラウンドについては、公の施設としての用途を廃止のうえ、譲渡又は貸付売却する。</li> <li>・市内に複数あるテニスコートやグラウンドなどは、学校開放による施設利用を視野に入れ、機能ごとに今後のあり方を検討する。</li> </ul>							
	上	ゆめが丘多目的広場	121㎡	2000年度	有	継続											
	阿	阿山第2運動公園	-	-	-	継続											
	上	上野運動公園競技場	398㎡	1998年度	有	継続											
	上	上野運動公園野球場	171㎡	1997年度	有	継続											
	上	上野運動公園プール	-	-	-	縮小											
	上	上野運動公園テニスコート	-	-	-	縮小											
	青	青山グラウンド	216㎡	1997年度	有	継続											
	青	青山テニスコート	-	-	-	複合化											
	青	青山高尾グラウンド	-	-	-	縮小											
	青	青山上津グラウンド	-	-	-	縮小											
	青	青山博要グラウンド	-	-	-	縮小								青148	ゲートボール場があっても指導者がいないので利用者が増えない	主として地元地域の方が利用するコミュニティ圏域のグラウンドについては、基本的には地元地域への譲渡、貸付売却としています。地域の方が管理をしていただくことにより機能は残ります。	
	青	青山矢持グラウンド	-	-	-	縮小								青124	矢持グラウンド現在のままで必要 市民センターも同じ		
	大	大山田せせらぎ運動公園	100㎡	1981年度	無	縮小								大97	せせらぎ運動公園施設管理は公共負担		
	大	大山田東グラウンド	-	-	-	縮小								大103	せせらぎ運動公園の処遇は？がってんがいかない		
	大	島ヶ原運動広場	-	-	-	縮小								島25	運動広場の縮小とはどういう事か？		
														島33	運動広場は市民センター隣で利用しやすい		
									島34	運動広場の稼働率が高く縮小するのはよくない							
									島49	運動広場 文都⇒島ヶ原地域まちづくり協議会へ譲渡							
									島51	運動広場 小中学校に譲渡 第二グラウンドとして運用							
									島60	運動広場は島ヶ原以外の人も多く利用しているのではないか。縮小のメリットはない。							
									島94	住民が主体となり当番制にして保守管理する							
									島104	運動広場 住民が主体となり当番制にして保守管理す							
									島106	島ヶ原運動広場は縮小というが島ヶ原地域のものとしてすべてをまかされては困るぞ							
上	ゆめが丘テニスコート	-	-	-	継続												
上	上野緑ヶ丘テニスコート	-	-	-	縮小												

施設用途 大分類	中分類	地区	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの方向性	現在の用途別面積	目標縮減面積	用途別目標	用途別の基本方針	地域	参加者からの意見 (個別施設に対する意見のみ)	意見に対する回答案 (事務局原案)
												No.		
観光・レクリエーション施設	青		青山ハーモニーフォレスト	389㎡	2005年度	有	継続	3,767㎡	2,700㎡	72%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収益性向上や多様な活用が見込める施設については、施設の譲渡を含め民営化を進める。</li> <li>・耐震性が無く、老朽化している施設については、他施設への機能移転を検討する。</li> <li>・来館者数の増加に向けた取組みや、現行の使用料の見直しを図り、受益者負担の適正化を検討する。</li> <li>・上野地区の観光施設については、文化施設との連携による回遊性の向上など、周辺施設と一体で観光戦略を検討する。</li> </ul>			
	上		だんじり会館	1,499㎡	1989年度	有	縮小							
	阿		伊賀焼伝統産業会館	483㎡	1990年度	有	継続							
	上		伊賀・信楽古陶館	211㎡	1977年度	無	複合化							
	上		岩倉峡公園	248㎡	1992年度	有	一部縮小							
	阿		阿山ふるさとの森	937㎡	1995年度	有	縮小							
商業施設	阿		道の駅あやま (阿山交流促進施設)	951㎡	2003年度	有	継続	8,854㎡	7,200㎡	81%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収益性向上や多様な活用が見込める施設については、施設の譲渡を含め民営化を進める。</li> </ul>			
	大		伊賀の国大山田温泉	3,167㎡	1998年度	有	縮小					大53	大山田温泉が気に入りです。施設は残して欲しいので運営方法などを考えて欲しいです。ただ、縮小するのではなく来客が多くなる方法を考えて欲しいです。	温泉については、雇用確保や農産物の販売など地元地域の経済活動の活性化などにも寄与しています。 施設の譲渡を含めた民営化により、現在の機能を維持するだけでなく、収益性の向上や多様な活用が見込めると思われます。
							大88					大山田温泉は伊賀市内をみても年間利用者が多く稼働率が高い。民間の経営に移ってでも残していく対策対応が必要ではないか。		
							大89					さるびの温泉の施設内に阿波診療所を併設。ふるさと創生資金の本来の使用目的に使う。デイサービスの受入施設の増。		
							大96					さるびのは公共温泉にし、料金差は公共で		
	島		島ヶ原ふれあいの里	4,056㎡	1994年度	有	縮小					島27	島ヶ原ふれあいの里を民営化し、新しい合理的な経営をもっと観光化を推進	
							島28					ふれあいの里は従業員が多すぎる		
							島29					やぶっちゃん再生は島ヶ原の手を離れてするのは困難		
							島47					島ヶ原ふれあいの里 民営化推進 宿泊施設施設確保することにより利用者増		
							島74					やぶっちゃん、老人福祉センター民間に！		
						島121	ふれあいの里、福祉センター等対応する相手さん(入札)だけで良いのか？そこは安心できる方法が必要							
						島122	ふれあいの里の引き受け先はあるのか。なかった場合、廃墟になるのか							
社会福祉施設	上		上野ふれあいプラザ	8,181㎡	1977年度	有	一部縮小	9,517㎡	7,500㎡	79%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ圏域施設については、地元への譲渡を進める。</li> <li>・老朽化している上野ふれあいプラザは、1階部分を商業施設として利用するが、2階部分が新庁舎の整備に伴う機能集約を図ることから、規模適正化による建替を検討する。</li> </ul>			
	伊		下柘植かがやきの郷	362㎡	2003年度	有	縮小					伊9	かがやきの郷の地元への移行	コミュニティ圏域施設については、地元への譲渡を想定しています。 譲渡の条件等については、今後協議を進めます。 介護予防の事業は、より地域に身近な施設で実施するように検討しています。
	伊		希望ヶ丘生きがいセンター	303㎡	2001年度	有	縮小					伊56	縮小の地区への引渡しの条件は	
	伊		壬生野福祉ふれあいセンター	372㎡	2001年度	有	縮小					伊60	介護予防施設縮小で地元譲渡では行政サービスの低下で住民負担につながる。考えるべき。	
	阿		鞆田地区介護予防拠点施設	299㎡	2003年度	有	縮小							
	青		矢持介護予防センター	307㎡	1980年度	無	縮小					青64	老人福祉施設が少ない	

施設用途 大分類	中分類	地区	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの方向性	現在の用途別面積	目標縮減面積	用途別目標	用途別の基本方針	地域 No.	参加者からの意見 (個別施設に対する意見のみ)	意見に対する回答案 (事務局原案)	
高齢者福祉施設	上	伊島	ふくじゅえん高齢者ふくし相談室	112㎡	1995年度	有	譲渡	6,824㎡	6,000㎡	88%				老人福祉センターは、社会福祉法人によるデイサービスの機能が中心であるため、社会福祉法人等への貸付・譲渡を想定しています。現在の機能については、社会福祉法人等により引き継がれることになります。行政が実施すべき機能は、支所庁舎を拠点として継続していきます。	
			新堂元気老人ステーション	297㎡	2004年度	有	縮小					島11	老人福祉センターは売却・譲渡の方向であるが市民サービスの低下につながる恐れがあるのでソフト面の		
			島ヶ原老人福祉センター	1,638㎡	1994年度	有	縮小					島12	老人福祉センター現状維持		
												島13	福祉センターは島ヶ原で守って欲しい。市で運営し他の業者に売却や譲渡しないで欲しい		
												島40	福祉センターの譲渡により一部縮小の体制が取れるか		
												島41	島ヶ原老人福祉センター 島ヶ原ふれあいの里へ移転(温泉利用可)		
												島82	島ヶ原老人センター 利用者も多く成り、機能は無くさないで下さい		
												島87	老人福祉は縮小せず現在のままでよい。サービスが低下する。		
												島88	老人福祉センター 高齢化社会を向かえ存続してサービス向上に努めるべき		
												島90	高齢化が進む中、地域福祉の拠点としての役割が大きい		
保健・福祉施設	大	大	大山田福祉センター	821㎡	2003年度	有	複合化	6,824㎡	6,000㎡	88%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ圏域施設については、地元への譲渡を進める。</li> <li>・福祉センターは、社会福祉法人によるデイサービス事業などが中心で、行政目的での使用が少ないことから、廃止もしくは周辺施設からの機能統合を図る。</li> <li>・収益性向上や多様な活用が見込める施設については、民間への貸付売却を進める。</li> <li>・現行の使用料の見直しや受益者負担の適正化を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ圏域施設については、地元への譲渡を進める。</li> <li>・福祉センターは、社会福祉法人によるデイサービス事業などが中心で、行政目的での使用が少ないことから、廃止もしくは周辺施設からの機能統合を図る。</li> <li>・収益性向上や多様な活用が見込める施設については、民間への貸付売却を進める。</li> <li>・現行の使用料の見直しや受益者負担の適正化を検討する。</li> </ul>	複合化を進める際の規模・配置については、実行計画及び推進の段階で詳細な検討を行う予定です。		
														大16	大山田福祉センターの規模で現在の支所機能を維持していけるか
														大17	福祉機能・・・介護保険事業所の維持は可能か
														大20	福祉センターと支所機能を確保(現状維持)することは可能なのか
														大33	福祉センターの改修が必要(雨漏りなど)
														大34	福祉センターへ支所が移ると社協業務との複合は部屋数等不足する
														大35	現福祉センターでは、支所機能と福祉機能を確保できるか。面積不足ではないか(同意見1)
														大55	ふれあいプラザは縮小はどうか?91.3%なのに
														大79	ふれあいプラザは高齢化の件で必要な施設で直営
														大95	ふれあいプラザさるびのの方向性は「拡充」に。稼働率も高く、今後も温泉付デイケアとしての機能は需要が多い
保健・福祉施設	青	青	青山福祉センター	1,842㎡	2000年度	有	複合化	6,824㎡	6,000㎡	88%		青8	青山保健センター・青山福祉センターは高齢者福祉施設として残すべき	青山福祉センターは、社会福祉法人によるデイサービス事業などが中心です。このため、社会福祉法人等への貸付・譲渡などにより現在の機能を維持することを想定しています。なお、行政で実施すべき機能は、支所庁舎に複合化し、支所を拠点に、より地域に身近な施設(地域の集会所・地区市民センター等)で実施できるよう検討しています。	
			青29	青山福祉福祉センター、青山保健センターの譲渡は反対。<福祉・保健・医療>はトータルケアの施設として行政責任の重要な拠点。財政理由のみで軽々に扱う勿											
			青31	福祉センターは単独で残すべき。住民サービスを充実させることの趣旨											
			青102	福祉センターの複合化で機能(サービス)の維持ができるか疑問											
			青130再掲	福祉施設、保健センター、市民センター、公民館を複合化											
			青133	青山福祉センター 有償譲渡であれば誰も購入できない無償譲渡を!											
			青134	青山福祉センターの貸付譲渡は、現在の介護保険の機能はどうするのか?											

施設用途 大分類	中分類	地区	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの方向性	現在の用途別面積	目標縮減面積	用途別目標	用途別の基本方針	地域No.	参加者からの意見 (個別施設に対する意見のみ)	意見に対する回答案 (事務局原案)
障がい者福祉施設	上	盲人ホーム	302㎡	1994年度	有	継続	1,486㎡	1,200㎡	81%	民間で同様のサービスが拡充されていることを踏まえ、現在の利用者に対するサービスの継続性に配慮しながら、施設を譲渡のうえ民営化を図る。	伊6	きらめきの縮小についてきっちり説明してほしい	民間で同様のサービスが拡充されていることから、民間サービスの利用者との均衡も図る必要があります。現在の利用者に対するサービスの継続性に配慮しながら施設を譲渡のうえ民営化を進めます。施設利用者を含め十分な説明を行いながら進めます。	
	伊	伊賀ホームほほえみ	195㎡	2002年度	無	縮小								
	阿	阿山ホームかざぐるま	197㎡	2006年度	有	縮小								
	伊	きらめき工房いが	475㎡	2000年度	有	縮小								
	青	きらめき工房あおやま	318㎡	2004年度	有	縮小								
保健施設	上	ハイトピア伊賀公共公益施設(4階)保健センター	1,134㎡	2011年度	有	継続	11,154㎡	1,400㎡	13%	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺施設の機能の複合化(当該施設への統合又は周辺施設への移転)を進める。</li> <li>現行の使用料または減免利用の見直しを図り、受益者負担の適正化を検討する。</li> </ul>	青146再掲	ハイトピア伊賀はコストが多かかっているのでは？	ハイトピア伊賀は、市以外が所有する区画を含む区分所有建物であり、各所有者が面積に応じて維持管理経費を負担しています。ハイトピア伊賀に限らず、維持管理費用の削減は公共施設全体の課題として、取組みを進めます。	
	上	健診センター	2,090㎡	2006年度	有	継続								
	伊	いがまち保健福祉センター	3,537㎡	1997年度	有	継続								
	阿	阿山保健福祉センター	3,042㎡	1999年度	有	複合化					阿39	支所、市民センターの複合化は本当にできるのですか。高齢化社会になり保健福祉センターの充実が望まれるのではないですか。	複合化を進める際の規模・配置については、実行計画の策定及び推進時に詳細な検討を行う予定です。現在の機能については、維持できるものと考えています。	
	阿	阿山保健福祉センター	3,042㎡	1999年度	有	複合化					阿41	福祉センターに阿山支所を置くと言うが、現行で職員がいっぱいであるがこのセンターに入れるか。改修が不要とするならば現行どおりでよい？		
	阿	阿山保健福祉センター	3,042㎡	1999年度	有	複合化					阿42	福祉センターの機能はどうなるか。支所が入れば縮小せざるを得ないのではないか。高齢化がさらに進む中でこれはおかしいと思う。		
	阿	阿山保健福祉センター	3,042㎡	1999年度	有	複合化					阿59	保健センターにいろいろ入ってサービスが維持できるのか		
	青	青山保健センター	1,350㎡	2004年度	有	複合化					青28	青山保健センター集約賛成 機能統合賛成	複合化を進める際の規模・配置については、実行計画の策定及び推進時に詳細な検討を行う予定です。現在の建物は、社会福祉法人等への譲渡を想定しています。	
	青	青山保健センター	1,350㎡	2004年度	有	複合化					青128	保健センターの調理する機能は統合する複合施設に継続すべき！		
	青	青山保健センター	1,350㎡	2004年度	有	複合化					青130再掲	福祉施設、保健センター、市民センター、公民館を複合化		
青	青山保健センター	1,350㎡	2004年度	有	複合化	青132	料理教室や日曜日でも使えるように 保健センター							
診療所	大	山田診療所(大山田保健センター)	1,056㎡	1992年度	有	継続	1,539㎡	0㎡	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の利用実態や周辺の医療施設の状況に基づき、配置を検討する。</li> <li>老朽化が進行した施設は、規模適正化による建替えや他施設への移転を検討する。</li> </ul>	大62	山田診療所週2回ではもったいない(同意見1)	今後の利用実態や周辺の医療施設の状況に基づき、配置を検討します。耐震性が無い阿波診療所は、規模適正化による建替えや他施設への移転を検討します。	
	大	阿波診療所	400㎡	1977年度	無	継続					大64	支所が福祉センターへの事だが、保健センターの今後の活用の方向性はどうなるの？		
	大	阿波診療所	400㎡	1977年度	無	継続					大50	阿波診療所の耐震化を急ぐべき		
	大	阿波診療所	400㎡	1977年度	無	継続					大60	阿波診療所利用者はどうか？継続は必要か？		
	大	阿波診療所	400㎡	1977年度	無	継続					大61	阿波診療所は耐震性を持ったものに		
	大	阿波診療所	400㎡	1977年度	無	継続					大90	阿波診療所はお年寄りの方には必要であるので継続して欲しい(同意見1)		
	大	阿波診療所	400㎡	1977年度	無	継続					大91	阿波診療所建替え		
青	霧生診療所	83㎡	1994年度	有	継続									



施設用途 大分類	地区 中分類	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの方向性	現在の用途別面積	目標縮減面積	用途別目標	用途別の基本方針	地域	参加者からの意見 (個別施設に対する意見のみ)	意見に対する回答案 (事務局原案)
											No.		
市民文化系施設	上	上野東部地区市民センター兼公民館	335㎡	1982年度	有	縮小							
	上	上野西部地区市民センター兼公民館	339㎡	1990年度	有	継続							
	上	上野南部地区市民センター兼公民館	330㎡	1985年度	有	継続							
	上	小田地区市民センター兼公民館	456㎡	1995年度	有	継続							
	上	久米地区市民センター兼公民館	365㎡	1997年度	有	継続							
	上	花之木地区市民センター兼公民館	352㎡	1975年度	有	継続							
	上	長田地区市民センター兼公民館	283㎡	1983年度	有	継続							
	上	新居地区市民センター兼公民館	465㎡	2002年度	有	継続							
	上	三田地区市民センター兼公民館	238㎡	1980年度	無	縮小							
	上	諏訪地区市民センター兼公民館	296㎡	1988年度	有	継続							
	上	府中地区市民センター兼公民館	331㎡	1989年度	有	継続							
	上	中瀬地区市民センター兼公民館	232㎡	1982年度	有	継続							
	上	友生地区市民センター兼公民館	352㎡	1989年度	有	継続							
	上	猪田地区市民センター兼公民館	328㎡	1992年度	有	継続							
	上	依那古地区市民センター兼公民館	300㎡	1987年度	有	継続							
	上	比自岐地区市民センター兼公民館	323㎡	1985年度	有	継続							
	上	きしが台地区市民センター兼公民館	418㎡	2010年度	有	継続							
	上	神戸地区市民センター兼公民館	330㎡	1988年度	有	継続							
	上	古山地区市民センター兼公民館	273㎡	1974年度	有	継続							
	上	花垣地区市民センター兼公民館	285㎡	1985年度	有	継続							
上	ゆめが丘地区市民センター兼公民館	622㎡	2010年度	有	継続								
伊	柘植地区市民センター	386㎡	2009年度	有	継続								
伊	西柘植地区市民センター	575㎡	1971年度	無	複合化					伊67再掲 伊55再掲 伊11再掲	市民センター、公民館、支所、図書室の統合は賛成する 支所、市民センター複合施設とし、公民館を小規模建替とする 支所、公民館、市民センター、図書館を一括して複合施設として新しく建築する	現在の案では、既存施設（ふるさと会館いが）を有効に活用することとしていますが、今後、新設の場合との比較検討などを予定しています。	
伊	壬生野地区市民センター	416㎡	2008年度	有	継続								
島	島ヶ原地区市民センター	688㎡	1992年度	有	複合化					島2 島3 島4 島20 島35 島36 島65再掲 島80 島81 島95 島96 島118 島54再掲 島55 島56 島57再掲 島73	市民センターは文化サークル活動で無料で使用できるすばらしい場所であるので 市民センターを売却する方向で 市民センターの貸館の有料化をすべき 市民センターを残して欲しい。サークルで使用するのにベター 市民センターは残して欲しい 市民センターは明るくて床も絨毯がいてあって用途によっても良い 学校へ統合 地区市民センターを残して欲しい 島ヶ原地区市民センターは支所に持って行く。市民センターを民間に売り税収にする 地区市民センター 建物の構造上、継続使用について検討すべき 市民センターを健康維持にグループで使用させていただいています。建物の廃止にあたり、今まで同様に市民として使用できるなら、どの施設でも良いです。無料使用でお願いしたいです。 市民センター 廃止して会館と支所に分けると良い 市民センターを住民もいらぬといった場合、売却先はあるのか。売れなかった場合どうなるのか。 子育て支援、放課後児童クラブ 少子化が進む中で切り離すべきでない (子育て)整理は仕方ない 複合化へ向けた体制、人材、交通手段 子育て支援センターは保育所の中に設置してはどうですか？ 放課後クラブ、市民センター ⇒島ヶ原小中学校へ移転 子育て機能については安全面を考えること	市民センターに限らず公共施設の使用料については、運営の適正化（Run）の利用者負担の適正化の視点から改正を行うこととしています。 現在の機能の移転先は、モデルケースのとおり島ヶ原会館が最適であると考えています。 現市民センター建物については、地元への貸付・譲渡等を想定しています。	
	(併設) 子育て支援センター					17,454㎡	6,100㎡	35%	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治基本条例に基づき、地域振興の拠点施設として継続配置する。</li> <li>第三次整備計画に基づく施設の整備にあたっては、周辺の既存施設の活用を原則とし、建替えを行う場合は将来の需要を加味して適正な規模で整備を進める。</li> <li>類似施設（集会機能を有する施設）とあわせて今後のあり方を検討する。</li> <li>地域の実情にも配慮しつつ、建替え時期に隣保館との複合化についても検討する。</li> <li>移転や建替え後の施設は、他用途への転用や更地にしての貸付や売却などの有効活用を検討する。</li> <li>上野東部地区市民センターは、旧上野商業高校へ移転を計画している。</li> <li>三田地区市民センターは、交流研修センターの建物を用途転用し利用する。</li> </ul>			保育所には現在空き教室が無いので、保育所への設置は検討していません。 安全性や機能性を考慮し、支所に併設することを想定しています。	

施設用途 大分類	中分類	地区	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの方向性	現在の用途別面積	目標縮減面積	用途別目標	用途別の基本方針	地域No.	参加者からの意見 (個別施設に対する意見のみ)	意見に対する回答案 (事務局原案)
市民文化系施設	阿	河合地区市民センター	467㎡	1980年度	無	複合化								
	阿	鞆田地区市民センター	370㎡	2009年度	有	継続								
	阿	玉滝・内保高齢者活動センター	380㎡	1997年度	有	継続								
	阿	丸柱山村活性化支援センター	332㎡	1994年度	有	継続						阿48	丸柱山村活性化センターは、譲渡されても収益だけではまかなえない	丸柱山村活性化センターは「継続」としています。
	大	山田地区市民センター	245㎡	1971年度	無	複合化						大38	市民センターが自治センター化計画との関連	複合化する施設の維持管理方法については、別途協議します。
	大										大1	市民センターを上野方式にすれば公民館との併用は可能と思う。(3人体制)市民センターの公民館への移動は		
	大										大65	市民センターの機能今よりも機能を多く持たず。職員も市民センターへ増員すれば		
	大	布引地区市民センター	239㎡	2009年度	有	継続						大85	市民センターの統合。支所機能を市民センターに移行	
	大	阿波地区市民センター	420㎡	2007年度	有	継続						大66	布引地区市民センターについて、導線整備がされておらず災害時対応が出来ていない(県道2号線)	
	大											大87	投票所設置 阿波地区は阿波地区市民センターに集約化。交通の便が良くなっている。1投票所の人数が少なくなっている。	
	青	阿保地区市民センター	154㎡	1987年度	有	複合化						青135	市民センターが住民自治機能を果たしていない。統合すれば考慮して	複合化する施設の維持管理方法については、別途協議します。
	青										青9	地区市民センター地区利用機能？		
	青										青130再掲	福祉施設、保健センター、市民センター、公民館を複合化		
	青	矢持地区市民センター	1,573㎡	1976年度	無	一部縮小						青10	自治センター化を出している中で地区市民センターの機能をどう扱うのか	
	青											青48	矢持市民センターは耐震はない。縮小とあるが耐震工事をするのか。	自治基本条例に基づき地域振興の拠点施設として継続配置する方針のため、耐震の無い矢持地区市民センター建物については、規模縮小のうえ耐震化を進める想定をしています。
	青	桐ヶ丘地区市民センター	424㎡	1987年度	有	継続						青49	地域の中心となる市民センターは新築計画(市内全域)を建てるべきである。地域格差をなくすため。	
	青											青79	桐ヶ丘市民センターを改築して使いやすい建物にしてほ	
	青											青170	大きな市民センターはなくても良い。介護予防センター	
	青	上津地区市民センター	486㎡	1981年度	無?	継続						青25	上津地区市民センターは残して欲しい	耐震性のある建物であるため、「継続」としています。
	青	博要地区市民センター	338㎡	1981年度	無?	継続						青86	旧博要市民センターは既に使命を終えた施設であり、財政効率からは全く無駄なものとされているが、伊賀市に残る昭和の学校建築様式を今に残す唯一の木造校舎である。単に整理してしまうのではなく、文化的価値を将来に残すのも、施設の最適化計画と思うが如何か。	耐震性のない旧校舎を残すことは困難であるため、基本的には取り壊しとされていますが、地元への譲渡についても協議をします。
青	旧 高尾地区市民センター	用途廃止済み				縮小								
上	伊賀市文化会館	5,326㎡	1991年度	有	継続									

施設用途 大分類	地区	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの方向性	現在の用途別面積	目標縮減面積	用途別目標	用途別の基本方針	地域 No.	参加者からの意見 (個別施設に対する意見のみ)	意見に対する回答案 (事務局原案)
ホール	伊	ふるさと会館いが	2,842㎡	1994年度	有	複合化	13,517㎡	1,400㎡	10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>稼働率の向上と維持管理経費の節減のため、ホール機能の集約化を図る。</li> <li>ホール機能を廃止する施設については、周辺施設の機能統合又は他施設への機能移転を図る。</li> </ul>	伊2 ふる館をどの様に建替えていくのか 伊4 ふる館の機能は全部なくなるの？ 伊5 複合化した場合、ふる館の改修の設計の概要は？ 伊28 ふるさと会館複合化してもホールは残せ 伊31 ふるさと会館つぶしたら講演会どこでできるのか 伊32 ふるさと会館いが有効に利用する方向はいいと思う 伊33 青山ホールは残すと聞いている。南・中央はあるが北はなくなるおかし 伊45 ふるさと会館の複合化賛成 伊46 ふるさと会館を複合化するとそれぞれの機能が到達できるか具体案がほしい 伊47 複合施設にする場合の設計説明が必要 伊76 ふるさと会館の芝生広場は子供達が遊べる広場にしてはどうでしょうか 伊77 ホール機能の廃止という場合、他の楽屋、リハーサル室、大道具庫、ピアノ庫、大ホールのホワイエなどすべて含めて廃止するのですか 伊78 現在のふるさと会館いがに入ったところの玄関ホール奥、会議室の前にある小ホールホワイエの広いスペースを有効に活用すべきです 伊79 いがまちには複合化するべき、はこ物が多いのでどんどん複合化してほしい。少々の不便は辛抱するつもりでふるさと会館に集中するのは疑問。耐震対策と投資何事も序々に！ 伊83 玄関ホールに入った所にある水のパティオ(どのくらいのスペースがあるのか明らかでない)のスペースを有効に使っていくべきです 伊94 芭蕉記念館はふるさと会館を 伊101 ふつさと会館 線路と信号のために通行が不便のため芝が通り道になるのか？市民の意見を聞いてもらえる 伊102 ふるさと会館の芝広場を駐車場に！ 伊104 ふるさと会館に支所、市民センター、公民館ができるスペースがあるのか！ 伊105 大ホールを使わない	複合化を進める際の規模・配置については、実行計画の策定及び推進時に詳細な検討を行う予定です。 駐車場については、想定必要台数を把握して整備計画を策定します。	
	阿	あやま文化センター	3,098㎡	2004年度	有	一部縮小					阿4 駐車場のあやま文化センターでイベントをする。新しい施設でもったいない、ホール使えない 阿5 利用度の改善に努力した上で決定 阿15 ホールが新しい。人々が少なくなる。さびしくなる。 阿16 もっと利用しやすい方法を考える。 阿25 なぜホールを縮小しなくてはならないのか 阿26 ホール機能の廃止について、なぜ廃止が必要か？伊賀市北部地域の人と人の交流の場であって絶対必要。交流の場がなくなる。人がかがやく地域がかがやくというキャッチフレーズはどうなるか 阿27 文化センターホール機能の廃止は、地域の文化の発展を阻止してしまう危険があり反対 阿28 文化センター早く廃止の方向に 阿29 (ホールの)施設維持管理を自治協議会で 阿45 さんさんホールは300人程度の集客施設である。非常に使い勝手がよい。1200人のホール、600人のホール、350人のホールがあっては？ 阿49 あやま文化センターは利用率が低いのなら使用料をあげては 阿50 さんさんホールは是非残して欲しい。使い勝手がよい。 阿53 あやま文化センターはそもそもなんで建てたんや？ 阿54 (ホールの)施設維持管理を自治協議会で 阿68 さんさんホールの大ホールを閉めて経費削減すべきだ 阿69 成人式をさんさんホールする必要は無い 阿87 あやま文化センターのホール機能の廃止はこれでよい 阿78 図書館は伊賀と阿山で一箇所グレードアップしたほうがいい 青109 ホールが残るのは嬉しい 青110 青山ホールは機能性がすぐれている。もっとPRを 青131 青山ホールのお客さんの為や住民の為の食事場所 青139 青山ホールの使用方法 現在の規制を緩和して欲しい(利用率の向上に向け) 青169 青山ホール開館時ほどの利用がなくなっている。予算が足りない。	ホールは、舞台つり物等の機能の維持管理のため多額の経費を要します。あやま文化センターのホールは稼働率が低く、機能の廃止を想定しています。代替として他のホールやあやま保健福祉センターのホールを利用いただくことを想定しています。	
	青	青山ホール	2,251㎡	1994年度	有	継続					青109 ホールが残るのは嬉しい 青110 青山ホールは機能性がすぐれている。もっとPRを 青131 青山ホールのお客さんの為や住民の為の食事場所 青139 青山ホールの使用方法 現在の規制を緩和して欲しい(利用率の向上に向け) 青169 青山ホール開館時ほどの利用がなくなっている。予算が足りない。	継続としていますが、利用率の向上や減免規定の見直しや使用料の改定を含む利用者負担の適正化など施設運営の適正化の取り組みを進める必要があります。	

施設用途 大分類	中分類	地区	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの 方向性	現在の 用途別面積	目標 縮減面積	用途別 目標	用途別の基本方針	地域 No.	参加者からの意見 (個別施設に対する 意見のみ)	意見に対する回答案 (事務局原案)							
公民館、 その他集会施設	上		中央公民館	用途廃止済み				縮小	9,384㎡	7,600㎡	81%										
			勤労者福祉会館	792㎡	1970年度	無	複合化														
			農村ふれあいセンター	405㎡	1998年度	有	縮小														
			ゆめぼりすセンター	1,149㎡	1997年度	有	継続														
			いがまち公民館	935㎡	1971年度	無	複合化														
	伊		いがまち公民館																伊41	図書室は分館にふさわしいように面積を大きくとる	複合化を進める際の規模・配置については、実行計画の策定及び推進時に詳細な検討を行う予定です。
																			伊11再掲	支所、公民館、市民センター、図書館を一括して複合施設として新しく建築する	
																			伊55再掲	支所、市民センター複合施設とし、公民館を小規模建替とする	
																			伊57	いがまち公民館は補強して残したほうが良いと思う	
																			伊64	いがまち図書室(分館)現在の面積81㎡(書庫を入れると115㎡)、せめて200㎡以上(書庫を入れると230㎡)にしてほしい	
	伊		柘植公民館																伊65	閲覧コーナー、学習コーナーをゆったりととる	
																			伊66	児童図書コーナー、気がねなく保護者が声をだして読んでもやれるコーナーを設けてほしい	
																			伊67再掲	市民センター、公民館、支所、図書室の統合は賛成する	
																			伊81	図書室についても子供達がゆったりと本を読んだり学習するスペースを充分とって計画してください。	
																			伊30	図書館(室)新設	
大		大山田農村環境改善センター										伊107	公民館廃止されたら複合化されるということ少し理解できました								
												伊89	小学校に公民館機能を								
												伊68	柘植地域の住民パワーで伊賀市をPRしている柘植歴史民俗資料館は柘植で残すべき								
												伊69	テレビ、新聞で伊賀をPRする柘植歴史民俗資料館は、柘植で残すべし								
												伊70	現在、生きている施設は殺すな。柘植歴史民俗資料館は残せ。								
												伊72	柘植公民館廃止のとき、都美恵太鼓の練習場？郷土芸能保存の観念								
												大4	農村環境改善センターは倉庫として利用を								
												大41	環境センターを廃止して、ホールを隣地のどんぐりホールに共用はできない(600人が200人定員の施設に入らない) (同意見3)								
												大49	環境改善センターは複合化の計画だが駐車場はどう確保するか。せせらぎ公園の整備必要								
												大57	大山田農村環境改善センターの複合化はその建物に代わるものは他にあるとは思わない								
大		大山田公民館										大58	改善センターホールが取り壊しとなれば、大イベント時の会場使用料が負担となる								
												大63	サークル活動はどこでしたらいいの？								
												大84	大山田改善センターのホールはある程度の設備が揃っているため中学生が利用しています。他の場所は？								
												大93	改善センターのような大規模集会所の廃止はよくない。つまり大山田地区にはこうした施設は一つ残すべきである。簡単に民間施設を利用できるものは地区内に無い。								
												大69	支所が公民館へ移設しても資料備品の保管場所がある								
												大28	現状の3施設を廃止して、複合施設(大山田公民館)で機能できるのか								
												大70	公民館に市民センターが入っても機能できるスペースがない								
青		青山公民館										大77	大山田公民館には和室が無いので、改善してもらえると改善センターの和室の代わりになるのでは								
												青130再掲	福祉施設、保健センター、市民センター、公民館を複合化								

施設用途 大分類	中分類	地区	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの方向性	現在の用途別面積	目標縮減面積	用途別目標	用途別の基本方針	地域 No.	参加者からの意見 (個別施設に対する意見のみ)	意見に対する回答案 (事務局原案)					
水施設		島	島ヶ原会館	1,249㎡	1971年度	無	複合化					島10	文化サークルの活動場所を確保して欲しい。会館も市民センターもとても役に立った。支所にうつる事で縮小されることはないようにして欲しい。	複合化を進める際の規模・配置については、実行計画の策定及び推進時に詳細な検討を行う予定です。					
												島23	島ヶ原会館の耐震工事は必要ではない。建替が必要であるのでは						
												島26	現島ヶ原会館の工事は耐震だけの補強か？耐用年数が延びるのではないかな？						
												島39	島ヶ原会館に替わる集会場の確保						
												島44	市民センターは会館⇒支所へ移転 会館にスペースナ						
												島45	会館⇒支所へ移転 ホール(約100名収容)確保できるのか						
												島46	島ヶ原会館のホール機能はどこで確保するのか						
												島76	公民館活動、場所の確保						
												島77	会館のホール機能残して欲しい						
												島85	島ヶ原会館 大規模集会所の代替が島ヶ原支所で確保できるのか。駐車場を含む						
												島86	島ヶ原会館の貸室を有効に使用する						
												島97	島ヶ原会館無くすことは困ると思います						
												島99	会館 大規模な集会施設がないので残す						
												島119	村民会館老朽化したら建物廃止との事。それであれば現在、耐震する必要ないと思う						
島103再掲	まちづくり協議会、社協、市民センターを支所2階 サークル活動、子育て支援センターを会館へ																		
生活館・市民館、集会施設など		伊	柘植老人憩いの家	575㎡	1966年度	無	縮小		9,510㎡	2,000㎡	21%		伊62	老人憩いの家などの福祉施設等を介護保険制度の改正による市町村事業による部分で地域へとより広い対象で再利用することを考えてみては	市が実施する介護予防等の事業は、より身近な施設(地域の集会所・地区市民センター)等を使用することを検討しています。 ハイトピア伊賀は、市以外が所有する区画を含む区分所有建物であり、各所有者が面積に応じて維持管理経費を負担しています。 ハイトピア伊賀に限らず、維持管理費用の削減は公共施設全体の課題として、取組みを進めます。				
													青146再掲	ハイトピア伊賀はコストが多かかっているのでは？					
													大	ライトピアおおやまだ		475㎡	1996年度	有	継続
													青	青山文化センター		561㎡	1982年度	有	継続
													上	木興町市民館		198㎡	1980年度	有	継続
													上	久米町ふれあい会館		130㎡	1994年度	有	縮小
													上	久米町市民館		132㎡	1978年度	有	継続
													上	八幡町市民館		972㎡	1972年度	無	継続
													上	八幡教育集会所		132㎡	1975年度	無	継続
													上	リパティなかせ		130㎡	1996年度	有	継続
													上	寺田教育集会所		271㎡	1976年度	無	継続
													上	寺田公民館		88㎡	1987年度	有	縮小
													上	寺田市民館		521㎡	1976年度	無	継続
													上	下郡コミュニティセンター		264㎡	1993年度	有	継続
													上	下郡市民館		642㎡	1975年度	無	継続
													伊	まえがわ隣保館		695㎡	1979年度	有	継続
													伊	まえがわ児童館・教育集会所		374㎡	1979年度	有	継続
													伊	まえがわ青少年活動センター		434㎡	1989年度	有	継続
													伊	大土教育集会所		204㎡	1995年度	有	継続
													青	老川教育集会所		125㎡	1998年度	有	継続
													上	第1生活館		97㎡	1971年度	無	複合化
													上	第2生活館		103㎡	1972年度	無	縮小
													上	第3生活館		101㎡	1973年度	無	複合化
上	第4生活館	100㎡	1977年度	無	複合化														
上	第5生活館	102㎡	1983年度	有	複合化														
上	第6生活館	84㎡	1984年度	有	縮小														
上	しろなみ児童館	615㎡	1970年度	無	複合化														

施設用途 大分類	中分類	地区	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの方向性	現在の用途別面積	目標縮減面積	用途別目標	用途別の基本方針	地域No.	参加者からの意見 (個別施設に対する意見のみ)	意見に対する回答案 (事務局原案)	
小規模集会施設・多目的集会施設 市民文化系施設	上	治田ふれあいプラザ	362㎡	2008年度	有	縮小	5,458㎡	5,500㎡	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コミュニティ圏域の公共施設」については、地区への譲渡を進める。</li> <li>・譲渡後の施設は、地区に対して施設改修などの補助を提供する制度を活用する（今後、制度の詳細について見直しを検討中）。</li> <li>・耐震性が無い施設を地域に譲渡する場合は、耐震化等にかかる費用を勘案し地域と協議する。</li> </ul>					
	上	大滝ふだば館	115㎡	2004年度	有	縮小									
	阿	下友田多目的集会施設	235㎡	1991年度	有	縮小					阿57	下友田の施設縮小でのっているが、無条件で移ることになるのか？	地域への譲渡に際しては、事前に地域と協議を行います。		
	阿	中友田多目的集会施設	126㎡	1994年度	有	縮小									
	阿	山生田多目的集会施設	116㎡	1994年度	有	縮小									
	阿	阿山ハイツ小規模多目的集会施設	165㎡	1982年度	有	縮小									
	大	猿野小規模集会施設	203㎡	1996年度	有	縮小					大31	小規模集会施設の固定資産税の減免を考えてほしい(同意見1)	集会所のように公益のための施設(有料施設を除く)は、市税条例により減免が可能です。		
											大25	小規模集会場の縮小の具体的な方策は？	地域への譲渡を想定しています。		
											大108	小規模施設は地区へ無償譲渡すると共に譲渡後の施設改修などの補助を手厚くすることは大切。また難しい話だが、譲渡せず、管理運営は地区がするとして、市で建替えのお金を貯めていってもらえないか検討されたい	地域への譲渡後には、伊賀市公民館建設費補助金交付要綱に基づき、増改修及びバリアフリー改修の際に補助を受けることが可能になります。		
	大	下阿波小規模集会施設	162㎡	1983年度	有	縮小					大71	小規模集会施設の縮小とは補助が0ということか	地域への譲渡後には、伊賀市公民館建設費補助金交付要綱に基づき、増改修及びバリアフリー改修の際に補助を受けることが可能になります。		
	大	下阿波北山小規模集会施設	151㎡	1994年度	有	縮小									
	大	下畑小規模集会施設	56㎡	1994年度	有	縮小									
	大	広瀬小規模集会施設	161㎡	1995年度	有	縮小									
	大	甲野小規模集会施設	130㎡	1988年度	有	縮小									
	大	子延小規模集会施設	144㎡	1998年度	有	縮小									
	大	小上野小規模集会施設	91㎡	1985年度	有	縮小									
	大	上阿波小規模集会施設	167㎡	1987年度	有	縮小									
	大	上炊小規模集会施設	43㎡	1990年度	有	縮小									
	大	上中島小規模集会施設	77㎡	1994年度	有	縮小									
	大	須原小規模集会施設	161㎡	1997年度	有	縮小									
	大	千戸小規模集会施設	180㎡	2002年度	有	縮小									
	大	川原小規模集会施設	74㎡	1994年度	有	縮小									
	大	川北小規模集会施設	103㎡	1984年度	有	縮小									
	大	大沢小規模集会施設	199㎡	1993年度	有	縮小									
	大	中町小規模集会施設	70㎡	1989年度	有	縮小									
	大	東出小規模集会施設	131㎡	1990年度	有	縮小									
	大	平田小規模集会施設	58㎡	1988年度	有	縮小									
	青	阿保上区集会施設	131㎡	1993年度	有	縮小					青5	集会所縮小すでにランニングコストで持っている	地域への譲渡後には、伊賀市公民館建設費補助金交付要綱に基づき、増改修及びバリアフリー改修の際に補助を受けることが可能になります。		
	青	阿保西部集会施設	377㎡	1997年度	有	縮小					青6	集会所縮小の場合、大きな修繕が必要な場合の費用負担は？	地域への譲渡により機能を確保することを想定しています。		
	青	阿保多目的集会施設	322㎡	1985年度	有	縮小					青168	阿保多目的施設はどうなるか？代替の場所及び施設を提供して欲しい。	地域限定的に使用されるコミュニティ施設として、地元地域への譲渡を想定しています。取壊すわけではないため、継続して利用が可能です。		
	青	桐ヶ丘第二集会所	114㎡	1988年度	有	縮小					青75	桐ヶ丘第二集会所縮小となっているが月39回333延人が利用してるのになぜか？	集会所のように公益のための施設(有料施設を除く)は、市税条例により減免が可能と考えます。		
											青83	桐ヶ丘第二集会所は維持補修費も自治会ですすでに管理している	全ての公共施設を対象に検討しています。		
青	上高尾鈴又集議所	65㎡	1993年度	有	縮小	青70	地区の集会施設を払い下げと言われるが、地区内の高齢化、人口減により維持管理も難しい状況であることも配慮願いたい。固定資産税はどうなるのか。								
青	寺脇区農林漁家婦人活動促進施設	131㎡	1996年度	有	縮小	青74	青山地域の集会施設(計2,350㎡)を面積ベースに入れるのはどうか？								
青	上津基幹集落センター	402㎡	1976年度	無	縮小	青46	上津基幹集落センターは廃止を前提に検討すべき								
						青47	上津基幹集落センター縮小、譲渡、廃止…住民の意見で廃止、取壊しとなると市で全部経費を出して解体し、土地のみ地域に譲渡する	取壊しなど機能廃止後の施設の方向性については、地元地域と協議します。							
青	川上集会所	68㎡	1998年度	有	縮小										
青	滝区農林漁家婦人活動促進施設	131㎡	1997年度	有	縮小										
青	福川公民館	141㎡	2007年度	有	縮小										
青	霧生広刈多目的集会所	97㎡	1990年度	有	縮小										

施設用途 大分類	中分類	地区	施設名称	延床面積	建築年度	耐震性	施設ごとの方向性	現在の用途別面積	目標縮減面積	用途別目標	用途別の基本方針	地域 No.	参加者からの意見 (個別施設に対する意見のみ)	意見に対する回答案 (事務局原案)
資料館・ 記念館	上	上	蓑虫庵	268㎡	1993年度	無	継続	3,575㎡	1,500㎡	42%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史民俗資料館・資料館は、集約化を進める。</li> <li>・文化財施設は、来館者の増加又は運営経費の削減により運営の適正化を図る。</li> <li>・今後は、観光施設との連携による回遊性の向上を目指すなど、文化施設については保存から活用の方向性を検討する。</li> </ul>	大75	大山田郷土資料館の表示が違う。P19は複合化、P28は検討になっている	P28は、「実行計画」に関する記載です。「最適化計画」に定める「複合化」の方針に基づき、今後、具体的な実行計画を策定、実施していく段階で具体的な検討を行うという意味です。
	上	上	芭蕉翁記念館	425㎡	1959年度	無	縮小							
	上	上	旧小田小学校 本館	274㎡	1975年度	無	継続							
	上	上	旧崇廣堂	613㎡	1993年度	無	継続							
	上	上	上野歴史民俗資料館	720㎡	1997年度	有	複合化							
	上	上	城之越遺跡学習館	226㎡	1995年度	有	継続							
	上	上	入交家住宅	269㎡	2001年度	無	継続							
	阿	上	阿山ふるさと資料館	389㎡	1995年度	有	縮小							
	大	上	大山田郷土資料館	242㎡	1991年度	有	継続							
	上	上	伊賀越資料館（鍵屋の辻遺跡）	148㎡	1993年度	有	継続							
供給処理 その他全市対応	上	上	浄化センター	4,013㎡	1984年度	有	継続	15,060㎡	11,000㎡	73%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働期限が定められた施設及び容量の限界を迎える施設は廃止する。</li> <li>・さくらリサイクルセンターは、稼働期限</li> </ul>			
	上	上	さくらリサイクルセンター	10,950㎡	2002年度	有	縮小							
	上	上	不燃物処理場	96㎡	1996年度	有	縮小							
	上	上	上野総合市民病院	16,275㎡	1977年度	有	継続							
	上	上	斎苑	999㎡	1989年度	有	継続							
	上	上	共同浴場しろなみ湯	328㎡	1976年度	無	継続							
	上	上	環境センター	840㎡	2001年度	有	縮小							
	上	上	市民農園管理施設	160㎡	1996年度	有	継続							
	島	島	島ヶ原農産物処理加工施設	240㎡	1987年度	有	縮小							
	上	上	バイオ燃料センター	66㎡	2009年度	有	継続							
その他一般施設	伊	上	まえがわ火葬場	140㎡	1990年度	有	検討	513㎡	0㎡	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が日常生活を営む上で欠くことのできない施設は、継続して配置する。</li> <li>・利用者及び稼働率の少ない施設については、廃止し、必要な機能は民間委託等により確保する。</li> </ul>	島1	島ヶ原農産物処理加工施設は奥村区のクラブで代用できるので縮小には賛成します	廃止後は、民間等への貸付・売却を想定しています。
	大	上	奥馬野火葬場	58㎡	1990年度	有	検討							
	上	上	下郡火葬場	64㎡	1973年度	無	検討							
	上	上	寺田火葬場	101㎡	1984年度	有	検討							
	青	上	北山火葬場	78㎡	1980年度	有	検討							
	青	上	老川火葬場	71㎡	1978年度	無	検討							
	上	上	※その他の施設（教員住宅、共同作業所、地下駐車場等）	-	-	-	検討							
	上	上	教職員住宅	平成9年度			有							
	伊	上	大型共同作業所	平成10年			有							
	上	上	看護師宿舎	昭和52年			無							
上	上	職員宿舎	昭和52年			無								
上	上	永年書庫				0年度								
上	上	伊賀市・名張市広域行政事務組合				0年度								
上	上	小田車庫				0年度								
上	上	養護老人ホーム恒風寮				0年度								
上	上	老人デイサービスセンター				0年度								
上	上	寺田地区共同作業所				0年度								
上	上	八幡町共同作業所				0年度								
大	上	奥馬野共同作業所				0年度								
上	上	偲翁舎				0年度								
上	上	旧赤井邸				0年度								
上	上	俳聖殿				0年度								
上	上	上野南公園				0年度								
上	上	予野八重桜公園				0年度								
上	上	医師住宅（上野車坂町）				0年度								
上	上	医師住宅（緑ヶ丘中町）				0年度								
上	上	医師住宅（緑ヶ丘中町）②				0年度								
上	上	ハイトピア伊賀公共施設(B1階)地下駐車場				0年度								
全施設合計								48.6万㎡	16.6万㎡	34%		計	297	